

令和2年度 長崎県立鳴滝高等学校 学校関係者評価報告

評価の実施期日 ・場所等	令和3年3月2日(火) 15:30~16:15 多目的教室(本校1号館3階)
学校関係者評価 委員	夜間部元PTA会長 坂本 春治 様 鳴滝町西部自治会長 北川 壽樹 様 鳴滝1丁目自治会健友会長 小川 成任 様
学校評議員への 諮問内容	(1) 学校評価について(職員・保護者・生徒) (2) 学校行事について (3) 学校現況について (4) 学校の指導に関する質疑・助言等
学校評議員から の意見・助言等	(1) 長崎県公立高等学校入学者選抜制度が今年度から新しい制度になっているが、昨年度と比較してどのような変化が見られるか。 (2) 佐世保中央夜間部はエンカレッジコースを広報して、受検生を集めている。鳴滝高校夜間部も、様々な手を尽くして生徒数確保に努めてほしい。また、進学率の低さも気になる。返還の必要がない奨学金制度を紹介するなど、進学についての積極的な指導をお願いしたい。 (3) インターネットで「鳴滝高校」を検索すると、2013年頃の随分古くて悪い評価がヒットする。現状を考えると、非常にもったいない。 (4) 不登校生徒への支援はどのようにしているか。家庭内の問題や学校での悩み・いじめなど、様々な要因があると思うが、家庭と学校が協力して取組んでほしい。入学後、不登校に悩む生徒へのフォローをしっかりと行ってほしい。 (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止で学校も大変だろうが、できる限り工夫して学校行事は実施してほしい。高校生活の思い出を沢山作ってあげてほしい。 (6) 昨年度の昼間部1年次生は退学者が多かったように思うが、今年度は少なくなり、学校の指導力向上が見られる。
対 応 等	(1) 夜間部：昨年度の推薦・前期・後期から、今年度は推薦がなくなりI期・II期と制度が変わった。出願状況は、昨年度とあまり変わっていない。 昼間部：昨年度の推薦・一般から、今年度は推薦がなくなり前期・後期と制度が変わった。出願状況は、前期は中学校長の推薦が必要ないため、受検生が主体的に学校を選ぶことができる。出願者数は大幅に増加した。私学に合格したことで数名受検取消しがあったが、前期の実質倍率は1.7倍に上がった。 (2) 生徒の進路目標達成のために、これからも努力を継続する。奨学金などの支援制度についても、理解を深めていく。 (3) HPで古い情報は削除して、整理整頓を図り見やすいHPで情報発信する。 (4) 様々な特性や悩みがある生徒が入学または、在籍しているが、個々に応じた支援や指導を継続して行い、鳴滝高校に入学して良かったと思える指導を継続する。 (5) 学校行事について、コロナ禍における規模縮小や工夫は必要だろうが、学び止めないという姿勢で生徒のために取り組む。 (6) 今後も入学した生徒が立派に卒業できるように、本校にしかできない指導や支援を継続していく。